

## 日本鉄鋼協会記事

### 理 事 会

**第2回委員会** 開催日：4月26日。出席者：佐野会長  
他 37 名。  
会議事項

1. 政府の補助金委託金に関する件

政府は本年から委託研究として大型プロジェクトを取り上げ、電気計算機などに多額の予算を継続して交付することを決めた。来年度は鉄鋼関係を出したく、テーマとして鉄鋼生産の自動化、連続化が考えられている。毎年1~2億が期待できる。テーマが大きいので何をやるかを研究委員会、企画委員会よく再検討してもらうことになった。

2. 常務委員委嘱の件

磐城恒隆（特殊鋼部会長）辻畑敬治（品質管理部会長）木寺淳（調査部会長）作井誠太（標準化委員長）今井勇之進（研究委員長）

上記5名を常務委員に委嘱することに決定。

3. 訪独（ベネルックス）鉄鋼使節団派遣の件

昨年4月、50周年記念の際のドイツの使節団、本年3月、シンポジウムのベルギーの使節団来日の答礼として、11月上旬、2週間の予定で使節団を派遣することに決定。人数は20人位となる。

### 企 画 委 員 会

**第2回委員会** 開催日：4月19日。出席者：伊木委員長代理他 14 名。  
会議事項

1. 国内炭活用製鉄用コークス製造試験に関する件。

委員会に対し、今後の研究テーマの検討をしていただきたい旨依頼を出すことに決定。理事会に諮ることになった。

2. 明年春秋講演大会会場に関する件。

春は早大、東工大が一応候補になつている。来年は金属学会の30周年に当るので、それにならうことになる。来秋は北海道海が候補になつている。

3. 本会事業活動の今後の進め方について

本会の活動も軌道にのり国際的にも権威のある活動をしていきたい。今後の本会のあり方を再検討する時でもあるので十分企画委員会で意見をかわしてほしい。今秋の訪独鉄鋼使節団が向うに行つて実際に誰が動かしているかをよく見てきて、各国の学会のありかたをよく検討するのも一方法であろう。また講演大会のありかたについては、いまの段階では何もかもつめこみすぎる傾向があり、春秋以外に機会を設けてもよいのではないかと考えられる。ことに今回は討論会を4会場平行して行なつたが、2会場位にし、時間をかけて行なうようにしたらよかつた。論文についても新たに第1種、第2種論文を設け、最新の論文も多く受入れることができるようになった。以上のような意見が多々続出し、さらに検

討を加えることになった。

### 研 究 委 員 会

**第2回委員会** 開催日：4月26日。出席者：今井委員長他 14 名。  
会議事項

1. 技術講座についてつぎの通り決定した。

第3回技術講座を5月30日、31日大和証券ホールで、古来および将来の製鉄法について、雀部、川崎、小塚、金森各氏を講師として開催する。

第4回技術講座は7月後半鉄鋼合金元素について佐藤、今井、八幡製鉄、長谷川各氏を講師として開催する。

第5回技術講座は9月19日、20日、鉄鋼の格子欠陥について、橋口、藤田、鈴木各教授を講師として開催する。

2. 特定研究のテーマおよび金属研究の将来について協議した。

### 編 集 委 員 会

**第2回委員会** 開催日：4月25日。出席者：荒木委員長他 17 名。  
会議事項

橋口副会長より、会誌の現状は製錬、現場的方面では充実しているが、材料の基礎分野は弱体であるとの意見が述べられ、編集委員会としても今後基礎部門にも製錬分野同様に力を注いでゆくことになった。

1. 抄録小委員会報告

今後は抄録委員が抄録論文を選出し、翻訳を別途依頼する形式をとる。

2. シンポジウム小委員会報告

第73回大会討論会テーマは次のように決定した。

製鉄……鉄鉱石の熱割れに関する問題

製鋼……転炉炉内反応について

加工……薄板の深絞り加工性

性質……1) オーステナイトステンレス鋼の高温クリープ中の組織化

2) 鉄鋼の格子欠陥

3. 第71回講演大会討論内容会誌掲載について

第71回講演大会討論の質疑応答を会誌に載せることになった。

### 欧 文 誌 編 集 委 員 会

**第1回委員会** 開催日：4月12日。出席者：荒木委員長他 12 名。  
会議事項

1. 「鉄と鋼海外版」5巻4号の講評

図中説明の字が小さい。

図中マークの説明はなるべく図中にいれる。

数字は三桁で少し間隔をあける。

広告は、もつと広範囲の業種から数多くとる。

2. 「鉄と鋼海外版」6巻2号, 3号の掲載原稿決定
3. その他
  - (1) 共研報告は共研委員会に原稿選定を依頼し、年に2度くらい掲載する。
  - (2) 講演会, シンポジウムの討論会は講演内容と討論を20頁くらいにまとめて掲載する。
  - (3) 海外版余白に協会入会申し込み書を刷り込む。

### 資料委員会

第29回委員会 開催日: 4月15日. 出席者: 草川委員長他14名.

#### 会議事項

1. Translation の中には、学術上利用者側から見ると不必要な文献も多いため研究上必要な文献のみ収集したいという意見があった。現状としては、あと1年位続けて無駄を排除する方法を考え、どこまで利用すれば価値があるか考えるべきである。
2. 会誌「鉄と鋼」に掲載を了承された「資料室だより」について、6月号には「カタログ紹介」を掲載することになった。
3. カタログカード化については、本委員会が開催された初期において実行されたが、種々の点において中止したが、再び利用者の利点のために発行しようという意見があったので価格の点などにおいて次回検討することになった。

### 春の叙勲者

去る4月29日に発表された「春の叙勲者」のうち本会関係では次の方々が叙勲されました。

#### 勲一等瑞宝章

三島 徳七君 (本会前会長)

#### 勲二等瑞宝章

嘉村 平八君 (元九州工業大学学長)

宗宮 尚行君 (東京大学名誉教授)

#### 勲三等旭日中綬章

伊藤 隆吉君 (本会前会長)

#### 勲三等瑞宝章

浅輪 三郎君 (神戸製鋼所顧問)

三木 竜彦君 (元鋼索工業会会長)

山岡 武君 (本会前会長)

#### 勲四等旭日小綬章

栗村 敏家君 (栗村鋳業社長)

伊能 泰治君 (日鉄化学工業社長)

### 共同研究会

#### 製鉄部会

第28回部会 開催日: 4月25, 26, 27日. 出席者: 林部会長他115名.

#### 会議事項

1. 講演 “高炉操入物に関する2, 3の考察”  
富士製鉄(株)広畑製鉄所製鉄工場長 嶋田駿作  
“神戸第2高炉の炉壁付着物の除去”

(株)神戸製鋼神戸工場製鉄課長 田村節夫

#### 2. 共通議題

- (1) 高炉の壁付(アンザーツ)の生成原因およびその除去対策について
- (2) 焼結鉱の最適塩基度について  
焼結鉱の塩基度の焼結性状におよぼす影響、高塩基度焼結と高炉操業の関連については過去に断片的な報告が行なわれているがここでは両者を総括して焼結鉱の最適塩基度について検討した。

#### (3) その他自由議題

共通議題のとりまとめを壁付については神戸製鋼に、焼結鉱の塩基度については川崎製鉄にお願いすることになった。

### 製鋼部会

#### 中小形分科会

第20回分科会 開催日: 4月13日. 出席者: 湧島主査他98名.

#### 会議事項

#### 1. テーマ研究

- (1) 製品製造工程の歩留管理方式ならびに向上対策ロールの管理とその使用状況ならびにその材質について
- (2) 作業員配置とレイアウトの合理化
- (3) テーマ研究についてはリーダーをつとめた川崎製鉄に、2-2については同じく大阪製鋼にとりまとめをお願いし次回に資料として提出してもらうことになった。

#### 2. 自由研究

#### 3. 工場操業状況 (調査期間昭和40年10月, 11月12月)

- (1) 作業時間調査表
- (2) 製品歩留原単位調査表  
また工場操業状況調査表の記載要領について種々検討したが結論が出なかつたので協会の方へ各社の意見を提出してもらうことになった。

### 鋼板部会

#### ホットストリップ分科会

第4回分科会 開催日: 4月15, 16日. 出席者: 吉田主査代理他38名.

#### 会議事項

1. 設備関係の議題として、(1) デスケーリング設備について、(2) ホットランテーブル冷却水設備について、(3) ロール軸受についての3件が取り上げられた。  
(1), (2)については参加各事業所から詳細な資料が発表され、これに対し熱心な質疑応答が行なわれた。(3)について資料の簡単な説明のみに止めた。
2. 品質関係としては、スケール疵名とその防止対策を議題とし、各社から写真ならびに社内採用している名称、特徴、生成過程および防止対策が報告された。できれば分科会として名称を統一するため、在京委員会で検討、とりまとめを行なうこととなった。
3. 次回議題は、捲取機およびAGCを予定する。

## 標準化委員会

### 機械試験方法原案作成分科会

**第10回分科会** 開催日: 4月12日. 出席者: 吉沢主査  
他 7 名.

#### 会議事項

- ISO事務局より日本側の意見の回答が求められていた“硬さ試験方法”について検討を行なった。  
その結果各委員に再度検討いただき、問題点や意見を改めて5月7日までに提出してもらうことに決した。
- 前項の議題を次回検討し意見を取りまとめISOに提出すべき賛否および付帯すべき意見を決める。

## 鉄鋼基礎共同研究会

### 非金属介在物部会

**第2回部会** 開催日: 4月22日. 出席者: 荒木部会長  
他 25 名.

#### 会議事項

- 来年度研究体制について  
現在リムド鋼中の非金属介在物の研究を行なっているが今年度更にキルド鋼の研究が加われば組織をリムド鋼とキルド鋼の幹事会をつくり各々の下に小委員会を設けることが有利であるとの提案がありこれを了承した。
- リムド鋼の試験結果報告  
各社より分担分の試験結果および解析について報告が行なわれたが、横のつながりが欠けているのでリムド鋼幹事会小委員会で報告書のまとめ作業を行なうこととした。
- キルド鋼中の非金属介在物に関する研究説明  
事務所より標記研究計画の説明および本研究に際して必要とされる工具器具備品の各社購入希望の申出を要望した。

**第1回微量元素グループ会合** 開催日: 4月26日. 出席者: 今井世話人他 11 名.

#### 会議事項

- 当日までの経過報告  
今井世話人より、当日までの経過報告として、「金属学会誌、鉄と鋼その他関係誌に微量元素としてニオブをとりあげニオブの影響に関する研究を行なうこととして研究参加の公募を行なってきた、また昭和41年当初に微量元素グループの通産省への予算措置の話がで、本日資料として提出した研究計画を申請した」との報告があつた。
- 事務局より申請書および研究計画書の説明を行なった。
- 今後の方針について討議  
ニオブについての研究は各社ともかなり行なわれているだろうから、特許として申請されているもの

もあろう。それらと今度の研究内容が低触しないか調査する要があるとの提案があり、本日提出の研究計画書への意見および特許事項の調査を各社で行なうことを申し合せた。

**溶鋼溶滓グループ** 開催日: 4月3日. 出席者: 齊藤世話人他 31 名.

#### 会議事項

始めに溶鋼溶滓グループ研究に関し、各ブロック毎に代表者より現況活動の報告があつた。北海道ブロックでは、製鋼研究グループから発展した凝固現象懇談会で共同研究体制をしいており、また関西ブロックでは、溶融塩委員会を中心に、粘性、電極現象などを主題にして共通の論議を進めている。

次に、Working group の構成について意見の交換を行なった。

今後のグループ活動について

今秋 Working group のテーマを決定するために、また具体的論議を進めることができるように従来えられたデータや文献を基にして検討する。そのため各ブロック毎に手持の、あるいは集録のあるデータについて引受けることのできるテーマを、5月末までに委員長あて連絡する。

## 鉄鋼の照射試験研究合同委員会

**第19回委員会** 開催日: 4月27日. 出席者: 長谷川委員長他 28 名.

#### 会議事項

- ベルギーにおける第2次照射後試験の立会者（井形、小林）の出張報告が行なわれた。
- 第1次、2次分の照射後試験結果につき説明がなされ、さらにこれらデータの発表方法について、各社が独自に発表する場合には原子力局の了解を得ることとした。
- 第3次分の進捗状況につき確認し、7月末までに試験を三菱原子力あて送ることとした。Mill Sheetなどは次回、合同委員会より発表することとした。

## クリープ試験技術研究組合

### 技術委員会

**第36回委員会** 開催日: 4月27日. 出席者: 平委員長  
他 20 名.

#### 会議事項

次の議題について検討が行なわれた。

- 39年度応用研究試験結果報告書の最終取りまとめについて。
- 40年共同試験研究開始のため試験片加工配付状況について。
- 研究組合の事業活動に関する自由討議について。

支部記事

東海支部役員交替

本会東海支部の新役員が下記の通り決定いたしました。

Table listing officers and members of the Tokai Branch, including positions like 支部長 (Branch Chief), 幹事 (Executive), and 評議員 (Councillor) with names such as 林 達夫, 益本 功, etc.

Table listing advisors (顧問) for the Tokai Branch, including names like 川崎 舍恒三, 武田 修三, 松田 孜, etc.

東北支部役員交替

本会東北支部の新役員が下記の通り決定いたしました。

Table listing officers and members of the Tohoku Branch, including positions like 支部長 (Branch Chief), 常任理事 (Executive), and 評議員 (Councillor) with names such as 門間 改三, 不破 祐, etc.

新入会員氏名

(昭和 41 年 3 月 1 日~31 日)

Large table listing newly admitted members (新入会員) with columns for names, companies, and affiliations, including names like 片山 英司, 藤田 和宏, etc.

生川 浩	和歌山化学工業(株)	大輪 英元	〃	池田 雅彦	鉄鋼短期大学
広岡 甲三	高砂鉄工(株)	荻田 徹	〃	梶谷 英雄	〃
川原 正気	日本鋳業(株)	河合八州男	〃	芥藤 健	〃
熊井 俊一	(株)大同サービス センター	千葉 博明	〃	下地 弘剛	東北大学工学部
小林 忠雄	森田鉄工(株)	津田 正臣	〃	笹井 興士	〃
橋本健八郎	岡谷鋼材(株)	中村 康弘	〃	橋浦 正史	名古屋工業大学大学院
森脇 良一	日本橋梁(株)	吉田 安宏	〃	伊藤 卓雄	〃
川瀬 忠孝	MARCONA INC	渡辺 和哉	〃	内仲 康夫	東京大学大学院
片岡 正三	石原産業(株)	江畑 恒男	大阪府立大学工学部	渡辺 芳直	大阪大学工学部
館野 明正	高砂鉄工(株)	米田 有作	〃	<b>外 国 会 員</b>	
関口 昌弘	(株)小松製作所	小林 潤吉	〃	Jacob Schramm	(U.S.A.)
武田 武	東北鉄鋼協議会	中島 福信	〃	M. M. Kessler	(U.S.A.)
吉田 耕生	住友金属鋳(株)	西山 正敏	〃	Martin J. O'Brien	(U.S.A.)
宮野 三郎	東京都立大学工学部	原 耕作	〃	Ick Sang Oh	(Korea)
森田 一夫	大阪府立大学工学部	三好 嗣郎	〃	金 隴 圭	(韓国)
<b>学 生 会 員</b>		伊藤 洋平	名古屋大学工学部	條 元 錫	(韓国)
稲葉 隆	早稲田大学理工学部	小川 邦生	〃	張 相 哲	(韓国)
		三輪 光司	〃		

### 8 学 会 互 報 欄

本会会員は、すべて主催団体会員に準じた取扱いで参加できます。詳細は主催団体へお問い合わせください。  
なお、参加またはお問い合わせの際は本会会員の旨を付記して下さい。

行 事 名	開 催 日	会 場	会 費	主 催 団 体	申 込 締 切
講演とスライドの会 講演 (建築と電気) スライド (桂離宮の鑑賞)	41. 6.23(木) 13:00 より	日本電機工業会講堂	参加自由	電気学会 東京都千代田区有楽町 1-3 (201) 0983	
低温物理学の基礎と応用 講習会	41. 7.19(火) ~22(金)	学習院大学中央教室	一般 6,000円 会費*4,500円 学生 3,000円 見学科 500円	日本物理学会	41. 5. 23 (月)より受 付開始定員 500人にな り次第に締 切